

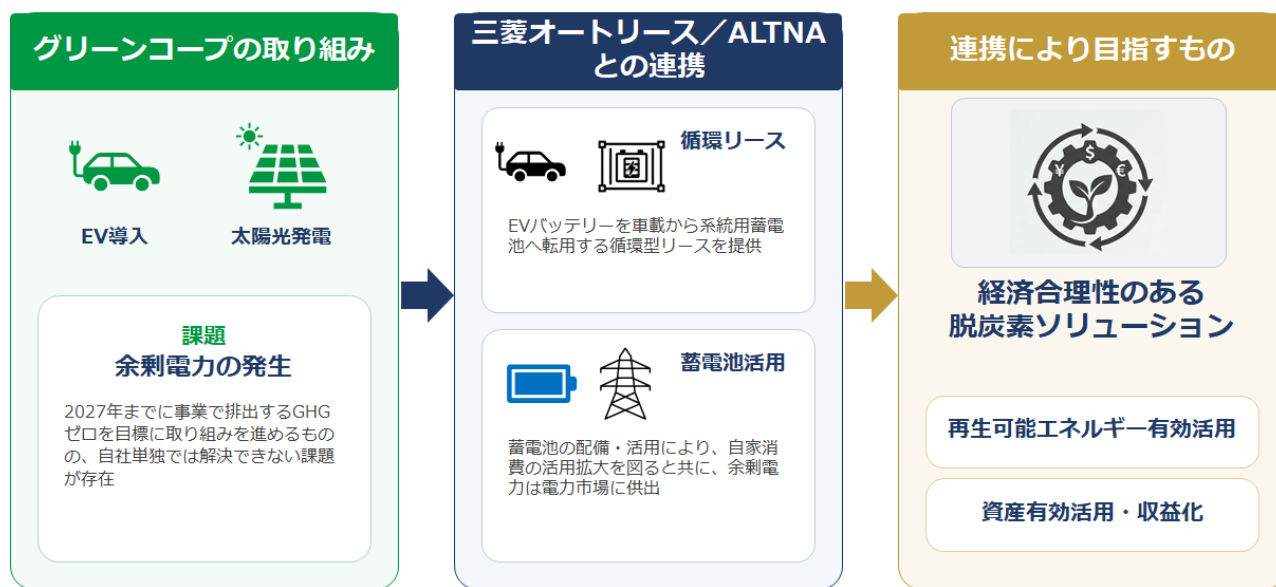
EV とエネルギーマネジメントの連携による価値創出に向けた取り組みを開始

西日本を中心に 16 の生協で構成されている一般社団法人グリーンコープ共同体(本部: 福岡県福岡市、代表理事: 日高 容子、以下、「グリーンコープ」)、一般社団法人グリーンコープでんき(本社: 福岡県福岡市、代表者: 日高 容子、以下、「グリーンコープでんき」)、ALTNA 株式会社(本社: 東京都千代田区、代表取締役社長: 福井 盛一、以下「ALTNA」)、三菱オートリース株式会社(本社: 東京都港区、代表取締役社長: 高井 直哉、以下「三菱オートリース」)の 4 社は、EV とエネルギーマネジメントの連携により、再生可能エネルギーの最大活用(脱炭素)、EV バッテリーの車載用から定置用までの長期活用(資源循環)の環境価値の創出と経済性を両立するサービス開発に向けた覚書を締結し、取り組みを開始します。

記

2027 年の温室効果ガス排出量ゼロを掲げるグリーンコープは、車両の EV 化や二酸化炭素を排出しない電気の利用推進をはじめとした、様々な取り組みを積極的に進める一方で、足元では太陽光発電による未利用電力(電力の余剰分)の発生など、自社単独では解決が難しい新たな課題に直面しています。

こうした課題を解決するため、ALTNA のバッテリーリースを活用した、三菱オートリースの「循環リースプラン(車載バッテリーの定置型蓄電池への転用を前提とした EV リース)」と、エネルギーマネジメントを連携させた、エネルギーを持続的に地産地消できる仕組みを構築し、脱炭素と資源循環の実現を加速させていきます。



【取り組み全体像】

具体的には、グリーンコープおよびグリーンコープでんきが運用する太陽光発電の余剰電力を、EV と蓄電池を組み合わせることで有効活用し、自家消費量の拡大や非常用電源としての活用をしつつ、同時に余剰電力の一部を電力市場へ供出することで、本取り組みの有用性と経済性を高めます。

また、本取り組みで得られる知見をベースに、モビリティ(EV)とエネルギーを組み合わせた経済合理性の高い「脱炭素ソリューション」としての仕組み化と再生可能エネルギーのさらなる有効活用によって脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

■ 三菱オートリース 会社概要

三菱オートリースは自動車・モビリティに係るリース、メンテナンス等の総合ソリューションサービスを展開しています。昨今では、特に EV を始めとする電動車の導入によるお客様の脱炭素・カーボンニュートラルへの取り組みをサポートする EV ソリューションの展開に注力しています。

◇本社:東京都港区芝 5-33-11 田町タワー

◇事業内容:自動車・モビリティに係るリース、メンテナンス等の総合ソリューションサービス業

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

三菱オートリース株式会社 経営企画部 広報担当:山本・田中

ホームページ:[お問い合わせ先](#)

E-mail:keiki@mitsubishi-autolease.com

以上